

第2次農業振興計画 施策一覧

第2次農業振興計画事業一覧

資料4

区分(大分類)	主要事業(中分類)	No.	個別事業(小分類)	事業内容	H29年度 実績
①食と農のしそを支える多様な農業	直売所のさらなる活用	1	直売所の利用の促進	めぐみちゃんメニュー事業、HPの活用等による情報提供拡充	①直売所のアンケート調査を実施し、市HPに直売所一覧を掲載した。 ②直売所で使用するのぼり旗を作成、配布した。 ③直売所のイベントにてファームカーを使用した支援を実施した。
		2	おでかけマップの更新	直売所情報の更新	「おでかけ図鑑」の中で、JAや市施設での直売所の紹介を行っている。
	地産地消の推進	3	めぐみちゃんメニューの推進(都市と農業が共生するまちづくり事業)	地産地消の推進、販路の拡大を目指す。	①食べ歩きイベント(グルメめぐりキャンペーン)や、マルシェを3回実施した。初めて西武柳沢駅周辺でマルシェを実施した。 ②ジェイコムめぐみちゃんメニュー参加事業者を紹介する番組を放送した。
		4	学校給食との連携	栄養士との意見交換会を開催する。	①平成29年12月18日学校栄養士と農業者の連絡会開催。2支店からJA職員も参加。来年度、JAと連携した取組を検討することになった。 ②平成29年11月、市内野菜を使った共通メニューを市内小中学校、保育園で提供した。
	販路の拡大と西東京ブランドの育成	5	めぐみちゃんメニューの推進(都市と農業が共生するまちづくり事業)	再掲	=No.3
		6	めぐみちゃんブランドの普及啓発	メニュー事業や補助金を活用し普及啓発を行う。	①めぐみちゃんメニュー事業を実施した。 ②補助金「市産農産物活用補助金」の対象を、市内で販売を行う商工業者も含めるように要綱を改正し、さらなる活用を促した。 ③直売所にめぐみちゃんのぼり旗を配布。「給食だより」や市政モニター制度にめぐみちゃんを使用するなど庁内での使用拡大を図った。
		7	JA直売所の開設検討	JA内直売所の充実、JAが直売所開設に向けた調査・研究	①JA保谷、田無で行っている農業者の直売会へのファームカーによる広報の支援を行った。(平成29年10月25日JA田無直売所改裝オープンした。) ②支店統合等にあわせ、JAに要望を行っていく。
		8	地域や商店街との連携	地域や商店街でのイベント等の活用	①いこいの森公園における農業者の直売活動を支援(ファームカー等)した。 ②西武柳沢駅圏でマルシェを開催し、地元の業者のPRにつなげた。 ③たま六都やりレーマラソンにおける直売への支援(ファームカー)を行った。 ④畑の防災訓練で地域の自治会と連携を行った。 ⑤農産物販売会における講師派遣などの地元商店街との連携 ⑥高齢者センターきららと連携した「テーブルファーム」の実施
②多様な担い手が生きがいを感じ、農業を続ける	若い担い手や女性農業者の育成	9	地元と連携した後継者育成	F&Uの実施、認定農業者を講師とした研修の実施	①東京都フレッシュ&Uターンセミナーや指導農業者制度と連携し、後継者育成の支援を行っている。 ②認定農業者の経営改善計画において、後継者も含めた農業経営の計画策定を支援している。 ③「農業後継者顕彰」を「農業委員会だより」に掲載し、周知を行った。
		10	若い担い手(新規就農者含む)の育成の検討	意見交換を通じ有効な支援策を検討	①F&Uの活用、農業技術研修生制度、指導農業者制度の活用を図っている。 ②中央農業改良普及センター等都関連機関との連携を行っている。
	11	女性農業者の育成の検討	意見交換を通じ有効な支援策を検討	①農業委員会の女性委員を通して、意見をいただいた。 ②認定農業者の経営改善計画において、女性家族を含めた家族協定を推奨している。 ③農業改良普及センターの支援を活用した。(JA保谷直売所での「とうきょう農業女性参画推進事業」の取組)	
	援農ボランティアの活用	12	農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供(都市と農業が共生するまちづくり事業)	農のアカデミー体験実習農園にて実施する。	①「青空塾」修了者と農業者のマッチングを、農のアカデミー体験実習農園にて実施している。 ②都「広域援農ボランティア」の周知・広報の協力をおこなっている。 ③都農作業サポーター支援事業との連携(募集協力等)
13		援農ボランティアのスキルアップ(都市と農業が共生するまちづくり事業)	農のアカデミー体験実習農園にて実施する。	①援農ボランティアのスキルアップ講習会を、市内農業者の協力を得て、農のアカデミーにて実施している。平成29年度は援農ボランティア17名と指導農家8名で7回実施。 ②講演会や運営連絡会も実施している。	
	14	認定農業者への支援の拡充の検討	支援の検討	①「認定農業者経営改善補助金」による支援。 ②経営改善計画作成への支援(西東京市農業経営改善支援センター)。 ③認定農業者連絡会の開催を支援。 ④平成30年度「都市農業活性化支援補助金」の申請手続き。	

第2次農業振興計画 施策一覧

順次(大分類)	主要事業(中分類)	No	個別事業(小分類)	事業内容	H29年度 実績	
	振による農業経営意欲の促進	15	新たな支援策の調査・研究	調査・研究	①現行の補助金の内容の検討。JAとの意見交換や「市産農産物補助金」の要綱改正。また、新たな補助制度(「プロジェクト」)の検討。 ②直売所への支援策を「総合戦略」に掲載し、事業の検討を行った(直売所一覧の作成等)。 ③直売の要望に対し、JAを通じた農業者団体への情報提供等	
		16	営農支援事業の適正運営	適正な運営を実施します。	「営農支援事業」をJAが実施している。	
③ 農地の保全と活用	生産緑地の保全	17	生産緑地地区制度への意見の具申	生産緑地制度への意見を具申	①農業委員会が平成29年度意見において、生産緑地の再指定、下限面積要件の見直しを市に提言。 ②条例制定において、都市計画課と連携。	
		18	農地の適正な肥培管理	農業委員会による管理	農業委員会と市が協力して、法に基づく農地パトロールを実施。新たな委員も適切な指導できるよう、総会において情報を共有している。	
	多面的機能の発揮	19	花摘みの丘の活用(都市と農業が共生するまちづくり事業)	景観をポイントにした施設の活用	①園主等の協力を得て、景観散策会を実施。 ②消費者センター主催の寄せ植え体験も実施されている。	
		20	農のatrie「蔵の里」の活用(都市と農業が共生するまちづくり事業)	農業学習や防災訓練	①園主の協力を得て、小学生を対象とした農業学習を実施した。 ②園主、自衛隊、消防署、地元自治会、市危機管理室の協力を得て、防災訓練を実施した。 ③高齢者を対象にしたテーブルファームを開催	
		21	災害協力農地の拡大	災害協力農地の拡大	JAと市が協定を締結している。農業者への情報提供などの支援を行っている。	
④ 農業を通じた交流	各種イベント、即売会等の実施	22	農業景観散策会の実施	花摘みの丘、農のアカデミー、農のふれあい散歩道	=19	
		23	市内産農産物活用事業の実施	市内産農産物を活用したイベント実施	①農のアカデミーにおいて、幼稚園児、近隣市民、市長を招いて収穫祭を開催した。 ②市内農産物を使用した料教室(協働コミュニティ課)への協力	
		24	親子で野菜づくりにチャレンジの実施	親子参加型イベントの実施	20組の親子を募集し、カブ等の播種、収穫の体験及び、都市農業のPRを行った。	
		25	農業普及啓発プロジェクトの活用(都市と農業が共生するまちづくり事業)	農業普及啓発プロジェクト(ファームカー、イメージビデオ、イメージソング)の活用	①市内農業関係施設を使用した、農業関連イベントを実施した。 ②ファームカーを活用し、直売の支援、イベントでの都市農業のPRを年間60回行っている。	
		26	めぐみちゃんマーケットの開催(都市と農業が共生するまちづくり事業)	市民理解を目的にめぐみちゃんマーケット開催。	①保谷、田無、西武柳沢駅周辺にてマルシェを実施し、市内産農産物を広報した。 ②農業者主体のマルシェの開催について、検討・協力を行った。	
		27	緑のアカデミー事業の実施(都市と農業が共生するまちづくり事業)	緑のアカデミー	市民やふるさと納税者計180名が参加して、緑のアカデミー実施し、植木生産の広報、交流を行った。	
		28	農とのふれあい散歩道づくり(都市と農業が共生するまちづくり事業)	散歩道づくりの推進	イベント時にパンフレット等により周知、広報を実施した。	
		29	ファームカーを活用した即売会(マルシェ)の検討	ファームカーによるマルシェの検討	直売の支援にファームカーを活用した。	
		農商工・産学公連携の推進	30	めぐみちゃんメニューの推進(都市と農業が共生するまちづくり事業)	再掲	=No.3
			31	地域や商店街との連携	再掲	=No.8
32	東大生態調和農学機構との連携		連携を協議	東大敷地内にある「野菜工場」の情報を収集、農業者に紹介。		
市民農園の新しい展開と農業体験農園の推進	33	市民農園の新しい展開	負担金の見直し、新たな付加価値地の創造	①利用料について、他市の状況を調査し、要綱の改正を行う。 ②注意事項の掲示や利用者への声かけなど、マナー遵守の活動を積極的に行った。		
	34	農業体験農園の推進	経費の一部補助及び広報支援	①募集等市報やHPでの広報や、市民まつりでの広報の支援(農業委員会だよりなど)。 ②開設時の支援制度(補助金)の周知を行っている。		